

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑧「宗教」をどう思うか?だが、私(達?)には、「客観的な総括?」は出来ない?!

I：この話題は(も?)、これまで、あまり触れたくない?そう思ってきましたが、ある人達との出会い(再会?)の中で、今、少しだけ?触れてみたい?そういう思いが募ってきています?!

D：そうですか?実は、私も、「宗教」に関しては同じ思いでしたが、改めて、その、ある人達との出会い(再会?)というのは、具体的には、どういうことである(った)のですか?

I：詳しいことは、ここでは言えませんが、私が知っている、ある市の職員(女性)が、とある宗教団体(キリスト教関係)の信者ということで(実は、昨年知った!)、過日イベント?の参加の誘いがあり、彼女らの活動(生き様?)を、改めて目の当たりにしました!その人の、職場での仕事振りからは、微塵にも、そうしたことが感じられないのですが、まったく違う人のように見えるのです!通常は?、何らかの素振りはあると思うのですが、まったくそういうことはないのです(多少偏見かな?)!

D：つまり、そのギャップに驚いた?そして、彼女が、そうなったきっかけは、いつ、どのようにあったのか?そういうことが不思議であった(知りたい?)!そういうことですね?!

I：まあ、そういうことですが、驚いたのは、実は、それだけではないのです!彼女だけではなく、少なくとも、私の知っている同市の女性が、そこに5人もいるのです!彼女らは、すべて、私が関わった、その市の社会教育関係職員あるいは委員である(った)のです!

D：そうですか!それは、それで、本当に驚きですね!現在(or当時?)の仕事や活動、それ自体に、彼女らが、そこで結びつくものはないのでしたら、そこには、一体何がある(った)のでしょうか?!

I：聞きましたら、それぞれある時期に、誘い、誘われた関係でもあったみたいですよ?!そして、そこに共通しているのは、それぞれの苦境の時に(家族とか、病気とか、人間関係等で、大いに悩み、苦しんでいた?!)、教会に行き、救われたというようなことがあるようです?!

D：ある意味、「宗教」とは、そうしたものが媒介(きっかけ)となるのだとは思っていましたが、まさに、彼女達もそういうことなのですね?!

I：そういうことです!今、思い返すと、「ああ、あの頃か?」と思えるようなこともあります。とにかく今、彼女らは、本当に明るく、そして、信念を持って活動されている(現在の仕事の方は分かりませんが?)!悩みや苦しみから解き放たれた、そういうように振る舞われているのです?!

D：それが、多少失礼かもしれませんが、「信じるものは救われる」ということかと思えます!しかし、そういった、今では、多少陳腐となった?言質を超えて(超越して?)、その人達の人生(幸せ?生きがい?)がそこにある?!まさに、そういうことであれば、それでいいということになりますね?!

I：まったく、その通りかと思えます!私としては、そのことだけは見失いたくはないと思っただけの発言なのですが、一方で、あまりにも身近か過ぎて、何とも言えない気持ちでもあります?!

D：余談ですが、例の「隠れキリシタン」(最近では、「潜伏キリシタン?」)のことも、最近、改めて知りました!ただ、その人達(長くて、深くて、重い労苦をなされたであろう?)が、そのように信じ、生きてこられたということに対しては、何も言うことはないのですが(それどころか、多少羨ましくもある?)、それが、政治(勢力)や金と絡む部分があれば、やはり私にはどうかとは思われますね?!

I：否、少なくとも、彼女らは、まったくそういうものとは縁遠い人達です!私は、そう思って(信じて?)います!何故なら、彼女らが、どういう仕事、活動をされてきたかを知っている(つもりだ?)からです!そして、何よりも、そのことを、他人がとやかく言うものではない?!

D：要は、公的な仕事と私的な活動は、まったく別な世界であり、自己の内面的な部分は、まさに「信仰」という形で実現されている?!それでいいということですよ?!(つづく)